



松中だより

校訓: 自主・自律・自学

学校だより 第11号

千葉市立松ヶ丘中学校

令和4年3月 日 ()

学校教育目標副題「人のために役立つ人間になろう」具現化に向けて

校長 伊藤 芳仁

3月になると3.11の大震災のことが思い起こされます。早いもので、あれから11年が経過しようというところですが、昨年10月にも千葉市の直下を震源とする最大震度5強の地震が発生しました。震度5強を観測した東京都では舍人ライナーの脱線、エレベーターの停止による被害などコロナ禍と併せたご苦勞に、被災者にあわれた方々には心からお見舞いを申し上げたいと思います。千葉県内でも停電や水道橋の破損などライフラインに若干のトラブルはありましたが、大きな被害がないことに一安心しました。しかし、3.11の長周期地震に比べ短周期地震であったことでその揺れ方と揺れの長さには肝を冷やしました。

地震ではありませんが、3年前にも千葉市では大型台風で長く停電と断水が続きました。前任校でも体育館の屋根が飛ばされる被害があり、その際、学校の水道が使えるということでポリタンクなどを持った方が数多くお越しになりました。ところが水は蛇口をフルに開けても細い水流でしたので、一人一人、結構時間がかかります。大きなポリタンクに入れている人の後ろでは待っている人たちのイライラが伝わってくるようでした。

私の自宅の近所でも水の出ている公園があるということで、水道に行ってみると意外な程並んでいないのです。3人程が並んでいましたが、人の少ない理由がわかりました。排水口が詰まっていて蛇口の周りが深い水溜りになっていたのです。長時間待つよりはよいかと並んでみると、私の前に並んでいた方が自分のポリタンクを横に置いて、私に「どうぞお先に」と言って排水口の掃除を始めたのです。腕まくりをして躊躇なく水溜りに手を突っ込んで、排水口の掃除を始めたのです。「お先にどうぞ」と言われても、さすがにそうはできないので、私も自分のポリタンクを横に置いて手伝いました。排水口は酷い詰まりでしたが、少しずつ水はい引いていきました。その後4～5人が水を汲みにこちらにやって来ました。譲ってくれた方はまだ水を汲んでいませんし、まだ取り切れていない排水口の詰まりを掃除しています。新しく並んだ方々もためらっていましたが、「どうぞ先に汲んでいってください」と声をかけられて何度も頭を下げながら水を汲んで帰りました。

その後も並ぶ人が増えていったのですが、雰囲気が大きく変わりました。水を汲んだ人はみんな「ありがとうございます。」とお礼を言って帰ります。ご高齢の方が現れると列の先に入れてあげますし、ポリタンク2つ持っている方は一つ入れるともう一つの空のポリタンクを持ってもう一度後ろに並びます。並んでいた方々は「どうぞ2つとも汲んでください」と勧めるのですが、「いいえ、急いでいませんから。」と並びなおします。どう見ても学校でのようなイライラ感はなく、穏やかな雰囲気が漂います。率先して掃除をしてくれた方がこの穏やかな雰囲気を作ったのだと思いました。

10月の地震でも被害の大きかった東京で同じような助け合い（譲り合い）の場面がテレビや新聞を通し紹介されました。「日本の助け合い文化」はこうして作られるのかもしれないと思う出来事でした。

今年度もコロナ禍の学校でもこうしたことは時折目にします。自分のことを後にしても友達のために一生懸命な生徒がいると、その集団の雰囲気が変わります。みんながやさしくなります。大人であろうが子どもであろうが、そういう人には心から尊敬する気持ちがわいてきます。やはり人間としてすばらしいなと思いますし、尊敬もできます。このようなことから、松ヶ丘中では来年度から学校教育目標の副題の「みんなちがって みんないい」に加え「人のために役立つ人間になろう」を加えて取り組んで行こうと考えています。

本校の個々の生徒に目を移すと今年度他者のために尽力できる多くの尊敬できる生徒たちに出会うことができました。本校の心優しい生徒たちに心から感謝しております。次年度は新たに副題を加えた学校教育目標の具現化に向けて職員一同更なる精進を行うことを自身の目標に掲げ、令和3年度最後の挨拶にしたいと思えます。本年度も本校学校教育にご協力いただき、誠にありがとうございました。

第三話 土気往還の約25km名所巡りの旅

その6 怒閑塚（じょかんづか）からJR土気駅周辺

怒閑塚からJR土気駅方面に向かうと間もなく緑区越智町に入ります。ここからは旧山武郡土気本郷町です。土気本郷町は昭和44年の千葉市に編入されましたが、山武郡域で旧上総の国になります。よって旧下総の国の誉田町と越智町の境は国境（くにざかい）となります。国境から旧土気往還（現大網街道）を更に進むとJR土気駅にたどり着きます。

JR土気駅周辺は、現在は土気を中心地ですが、江戸期以前の土気を中心はこれより更に東側で、現在も当時からの豪農の屋敷が残っています。また、古社寺や城跡も残り、歴史的価値の高い地区でもあります。九十九里平野から約100m登った地区にあり、古くは「峠の庄」（とうげのしょう）と呼ばれ、物資輸送の重要な中継点でもありました。土気という地名も「峠の庄」の「とうげ」が転じて土気（とけ）になったといわれています。

JR土気駅を大網方面に向かうと左方面に分岐する。これを左折すると旧土気往還の面影が残る古街道である。この古街道を進むと土気城跡付近から大網方面に向かう。この付近には豪農の屋敷や古社寺や城跡も残り、クラミ坂と呼ばれる峠道も当時に近い状態で残されている。

【3月の予定】

月	火	水	木	金	土	日
	1 公立高校追検査受付 3年生校外学習 1.2年特別日課	2	3 公立高校追検査	4 3年生を送る会 ①② 創立60周年 記念式典③④	5	6
7 公立高校 市立養護入学 許可候補者発表	8 卒業式予行	9	10 公立二次募集 出願	11 第60回 卒業証書授与式 公立2次 志願・希望変更	12	13
14 1年県標準学力検査 2年市学力状況調査	15 2年千葉市学力 状況調査意識調査	16 木曜日課	17 2年校外学習 1年学年内日課 公立2次発表	18	19	20
21 春分の日	22	23 給食終了	24 弁当持参	25 修了式	26 学年末休業日	27
28	29	30 離任式	31 学年末休業日最終日	4/1 学年始め休業～5	2	3

【4月のおもな行事予定】

6日（水）着任式・始業式	19日（火）全国学力・学習状況調査・市教研
7日（木）第61回入学式	23日（土）授業参観・学級懇談会・学年保護者会。部活動休養日
8日（金）新入生歓迎会①②	25日（月）振替休業日
11日（月）給食開始・清掃開始・教育相談週間開始	26日（火）正式時間割開始・教育実習開始（保体）～5/27
14日（木）仮時間割開始	28日（木）教育相談週間終了